

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 30 日(2022.8.30)

【公開番号】特開 2020-162812(P2020-162812A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2019-65519(P2019-65519)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 22 日(2022.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を表示可能な表示手段を備え、
遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、
特別遊技状態として、遊技者にとって有利度の異なる複数種類の特別遊技状態を有して
おり、

特別遊技状態の種類に関する履歴画像を表示手段にて表示可能であり、

履歴画像として、第 1 特別遊技状態に関する第 1 履歴画像と、第 2 特別遊技状態に関す
る第 2 履歴画像と、を少なくとも有しており、

第 1 特別遊技状態の発生に基づいて、第 1 履歴画像と第 1 特別遊技状態の発生回数に関す
る回数表示とが表示され得るよう構成されており、

30

第 2 特別遊技状態の発生に基づいて、第 2 履歴画像と第 2 特別遊技状態の発生回数に関
する回数表示とが表示され得るよう構成されており、

履歴画像と回数表示とが表示手段に表示されている状態で電源供給が遮断され、その後
、電源復帰した場合には、電源供給が遮断される前に表示手段に表示されていた履歴画像
と回数表示とは表示されないよう構成されており、

装飾図柄の変動表示を表示手段にて表示可能であり、

所定の条件を満たした場合に、音量調整画像を表示手段に表示可能である
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

画像を表示可能な表示手段を備え、

遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、

特別遊技状態として、遊技者にとって有利度の異なる複数種類の特別遊技状態を有して
おり、

50

特別遊技状態の種類に関する履歴画像を表示手段にて表示可能であり、

履歴画像として、第1特別遊技状態に関する第1履歴画像と、第2特別遊技状態に関する第2履歴画像と、を少なくとも有しており、

第1特別遊技状態の発生に基づいて、第1履歴画像と第1特別遊技状態の発生回数に関する回数表示とが表示され得るよう構成されており、

第2特別遊技状態の発生に基づいて、第2履歴画像と第2特別遊技状態の発生回数に関する回数表示とが表示され得るよう構成されており、

履歴画像と回数表示とが表示手段に表示されている状態で電源供給が遮断され、その後、電源復帰した場合には、電源供給が遮断される前に表示手段に表示されていた履歴画像と回数表示とは表示されないよう構成されており、

10

装飾図柄の変動表示を表示手段にて表示可能であり、

所定の条件を満たした場合に、音量調整画像を表示手段に表示可能であることを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

遊技球が入球可能な始動口と、

識別情報を表示可能な識別情報表示部と、

画像を表示可能な表示手段と

20

を備え、

始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と

、
或る保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る保留に係る前記乱数に基づき当否判定を実行し、当該当否判定の結果に基づき識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と

を備え、

30

遊技領域として、第一領域と第二領域とを有しており、

遊技者にとって有利な特別遊技状態を有しており、

特別遊技状態として、第1特別遊技状態と、第1特別遊技状態よりも有利な第2特別遊技状態とを少なくとも有しており、

特別遊技状態が発生したことに係る情報である履歴情報を、特別遊技状態が発生した順に記憶可能であり、

履歴情報は特別遊技状態の種類に関する情報を少なくとも含んでおり、

履歴情報に対応する画像である履歴画像を、表示手段にて特別遊技状態の発生した順に表示可能であり、

履歴画像として、第1特別遊技状態に関する履歴情報に対応する第1履歴画像と、第2特別遊技状態に関する履歴情報に対応する第2履歴画像と、を少なくとも有しており、

40

新たな保留が生起したことを契機として新たに表示され且つ識別情報の変動表示開始条件が充足されたことを契機としてシフト表示される画像オブジェクトである変動権利画像を表示手段にて表示可能であり、

履歴画像と変動権利画像とが同時に表示される場合、履歴画像の表示領域と変動権利画像の表示領域とは重複しないよう構成されており、

遊技球を第二領域側に向けて発射するよう報知可能な遊技情報である報知画像を表示手段にて表示可能であり、

履歴画像と報知画像とが同時に表示される場合、履歴画像の表示領域と報知画像の表示領域とは重複しないよう構成されており、

50

装飾図柄の変動表示と簡易図柄の変動表示とを表示手段にて表示可能であり、

履歴画像と簡易図柄の組合せとが同時に表示される場合、表示手段にて履歴画像が最大まで表示された場合でも、履歴画像の表示領域と簡易図柄の表示領域とは重複しないよう構成されており、

所定の遊技者操作に基づき遊技に係る出力状態調整画面を表示して出力状態の調整が可能であり、

履歴画像と出力状態調整画面とが同時に表示される場合、出力状態調整画面の表示の方が履歴画像の表示よりも表示優先度が高いことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50